

目的・概要

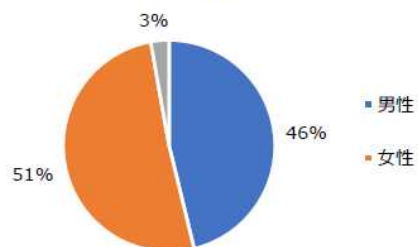
県では、次期総合計画の新たな考え方として、「ウェルビーイング」の視点を取り入れ、県民の幸福実感という主観的な要素を重視した県政運営を進めていくこととしている。

本調査は、県民の幸福実感の現状を把握・分析し、政策の充実・強化を図るための資料とすることを目的に実施したものである。

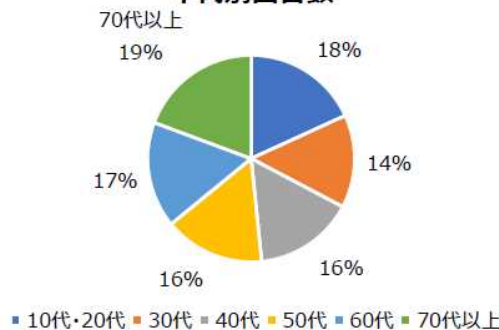
1. 調査手法

- ◆ 調査地域 静岡県内全域
- ◆ 調査期間 令和7年1月8日～令和7年1月31日
- ◆ 調査方法 書面及びWEB回答
- ◆ 調査対象 県内在住の18歳以上の男女
※地域別、年齢層別の標本数を、35市町の人口に応じて比例配分し、各市町の選挙人名簿から無作為抽出
- ◆ 回答状況 配布数5,000件 有効回答2,082件（書面1,236、WEB846） 有効回収率41.6%
- ◆ 全設問数 52問

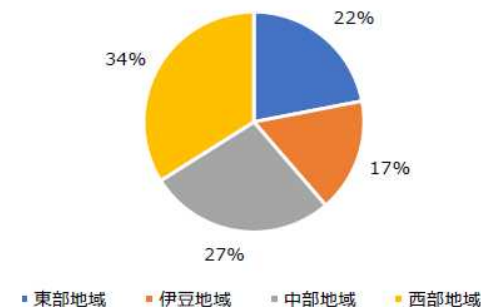
性別回答数



年代別回答数



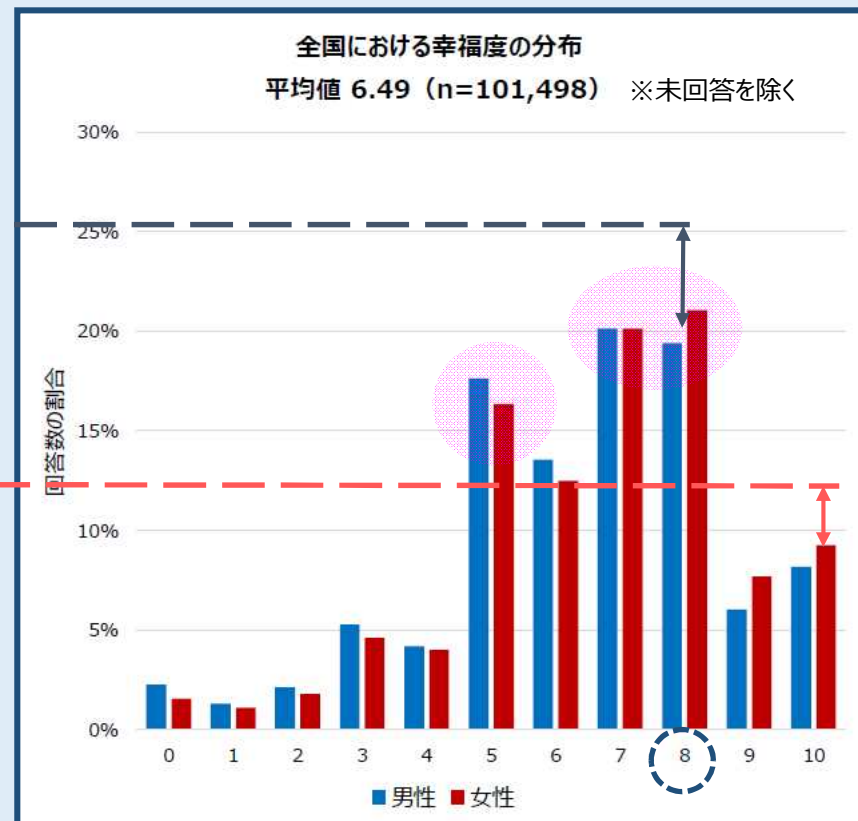
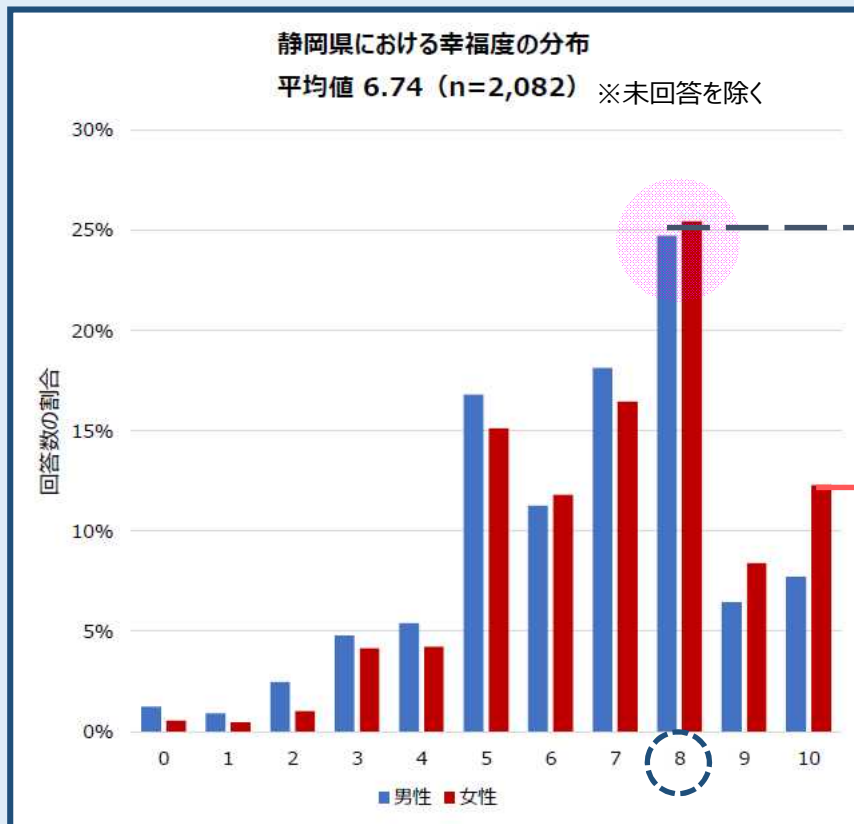
地域別回答数



I. 幸福度

設問

① 現在のあなたはどの程度幸せですか。（0～10までの11段階で回答）

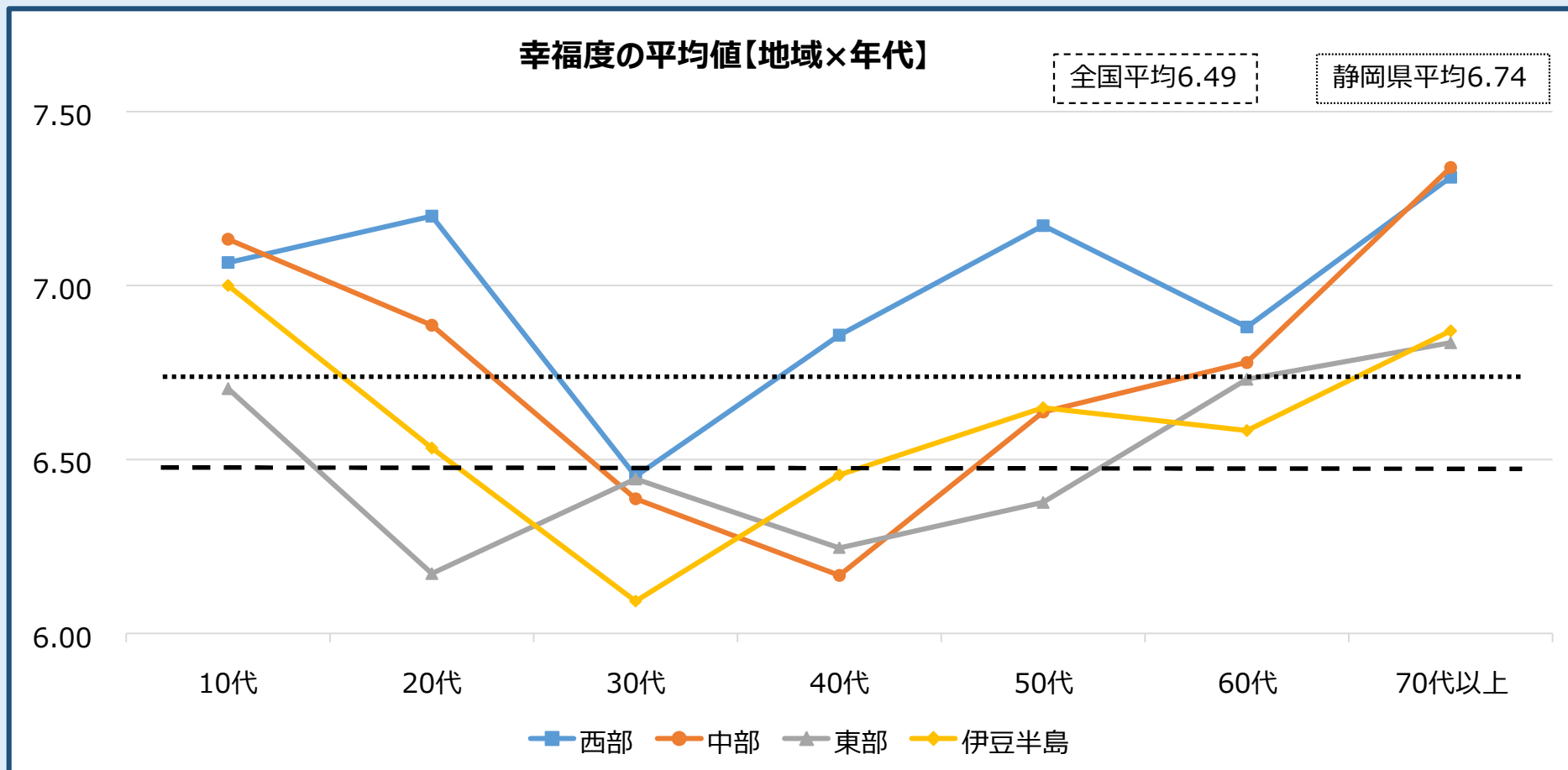


- 静岡県における幸福度の分布は、全国のふたこぶ型と異なり、「8」が多いひとつこぶ型の分布である。
- 幸福度「10」と回答した女性の割合が全国と比べて多い。

I - 2. 地域別幸福度

設問

① 現在のあなたはどの程度幸せですか。(0～10までの11段階で回答)



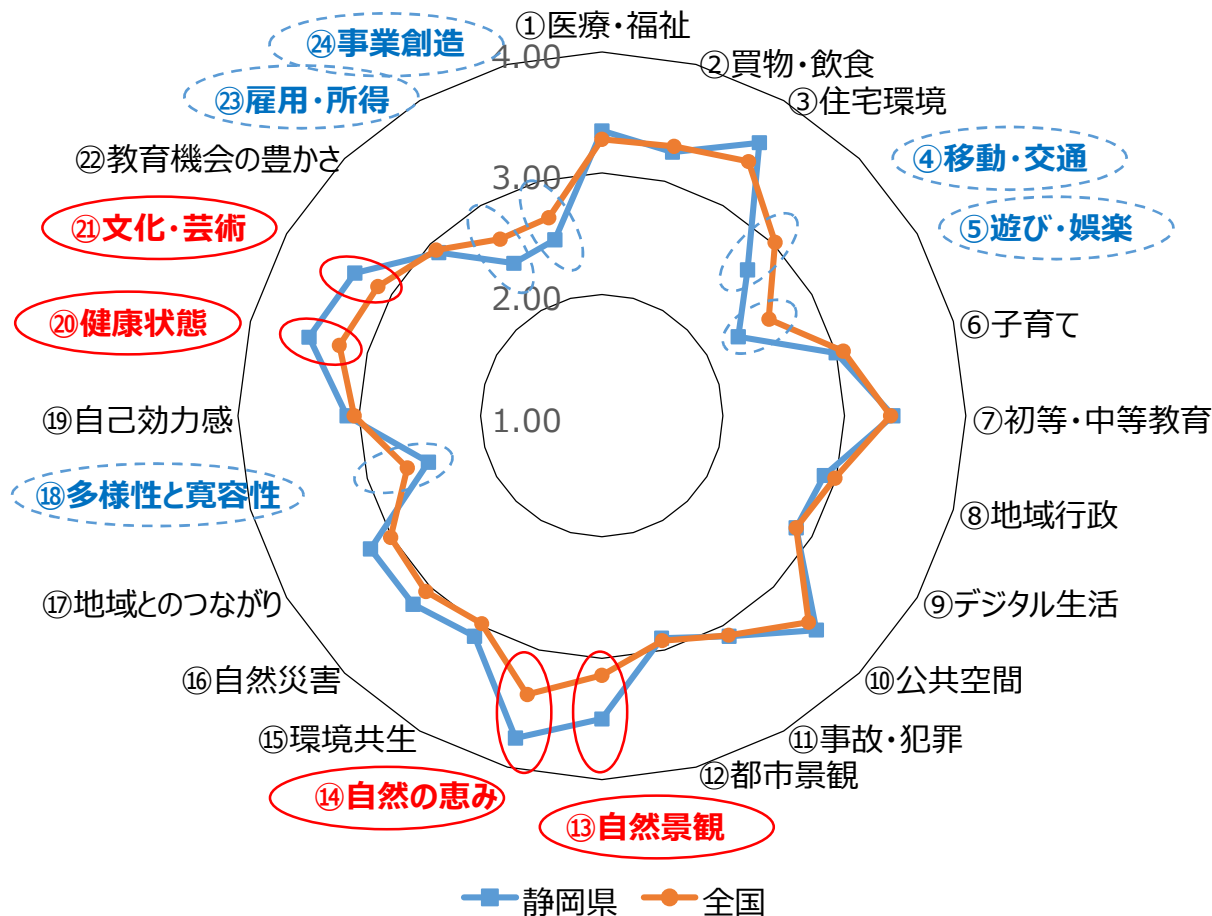
- 県民の幸福度は、30代、40代で底を打つ傾向が見られる。
- 年代によって地域別の幸福度には、ばらつきが見られる。

II. 因子別平均値の比較（全国と静岡県）

比較結果

- 「自然景観」「自然の恵み」「健康状態」「文化・芸術」は、全国平均値より0.2以上高い結果となった因子。
- 「移動・交通」「遊び・娯楽」「多様性と寛容性」「雇用・所得」「事業創造」は、全国平均値より0.1以上低い結果となった因子。

分野別実感（5段階で回答）



区分	静岡県	全国
①医療・福祉	3.35	3.28
②買物・飲食	3.25	3.30
③住宅環境	3.60	3.42
④移動・交通	2.70	3.02
⑤遊び・娯楽	2.30	2.59
⑥子育て	3.00	3.06
⑦初等・中等教育	3.40	3.38
⑧地域行政	2.90	2.99
⑨デジタル生活	2.85	2.85
⑩公共空間	3.50	3.41
⑪事故・犯罪	3.10	3.09
⑫都市景観	2.90	2.92
⑬自然景観	3.50	3.14
⑭自然の恵み	3.75	3.38
⑮環境共生	3.10	2.98
⑯自然災害	3.20	3.05
⑰地域とのつながり	3.20	3.01
⑱多様性と寛容性	2.48	2.66
⑲自己効力感	3.10	3.04
⑳健康状態	3.50	3.24
㉑文化・芸術	3.35	3.13
㉒教育機会の豊かさ	2.90	2.93
㉓雇用・所得	2.45	2.68
㉔事業創造	2.58	2.69

Ⅲ. 今後の取組方針

方針

「幸福度日本一の静岡県」の実現に向け、県民の幸福実感という「主観的要素」を重視した政策形成を県庁全体で進める。

R6年度

基盤整備（～R7.5）

政策立案・県民周知（R7.6～）

R8年度

県庁の体制整備

- ウェルビーイング推進会議の設置
- 職員へのウェルビーイング研修
 - ※幹部職員（局長級以上）
 - ※課長級

幸福実感の把握

- 県民意識調査の分析

政策形成への反映

①ウェルビーイング指標に基づく事業立案

- ウェルビーイング指標の分析結果をもとに各部署で事業立案

②企業による提案

- ウェルビーイング指標にもとづく事業テーマを設定
- 県内外の企業から事業アイデアを募集
- 選定企業によるプレゼンの実施

③職員（若手を含む）による提案

- 自由な発想で、事業や業務改善を提案
- 優良事例を知事へ提案

県民への普及啓発

- ウェルビーイングの考え方や、県の取組を発信
- 国際幸福デーを含む1週間で集中的に広報

幸福度に関する県民意識調査を実施

ウェルビーイングの要素を盛り込んだ事業を開始

主観（ウェルビーイング）評価指標 ～ 全50問 + 2問（県独自設問）

地域における幸福度・生活満足度（4）

- 現在、あなたはどの程度幸せですか？
- 現在、あなたの町内（集落）の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか？

- 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。
- 自分だけでなく、身近な周りの人も楽しい気持ちでいると思う

生活環境（16）

医療・福祉（2）

- 医療機関が充実している
- 介護・福祉施設のサービスが受けやすい

買物・飲食（2）

- 日常の買い物に全く不便がない
- 飲食を楽しめる場所が充実している

住宅環境（3）

- 自宅には、心地よい居場所がある
- 【逆】自宅の周辺では、騒音に悩まされている
- 適度な費用で住居を確保できる

移動・交通（1）

- 公共交通機関で好きな時に好きなところへ移動ができる

遊び・娯楽（1）

- 楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある

子育て（2）

- 子育て支援・補助が手厚い
- 子どもたちがいきいきと暮らせる

初等・中等教育（2）

- 教育環境（小中高校）が整っている
- 通学しやすい場所に学校がある

地域行政（2）

- 地域の行政は、地域のことを真剣に考えている
- 公共施設は使い勝手良く便利である

デジタル生活（2）

- 行政サービスのデジタル化が進んでいる
- 仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい

公共空間（2）

- 地域の雰囲気は、自分にとって心地よい
- まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある

都市景観（1）

- 自慢できる都市景観がある

事故・犯罪（2）

- 防犯対策（交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい
- 歩道や信号が整備されていて安心である

自然景観（1）

- 自慢できる自然景観がある

自然の恵み（2）

- 身近に自然を感じることができる
- 暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる

環境共生（1）

- リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである

自然災害（1）

- 暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている。

地域の人間関係（2）

地域とのつながり（5）

- 私は同じ町内に住む人々を信頼している
- 地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである
- 困ったときに相談できる人が身近にいる
- 町内の人が困っていたら手助けする
- このまちに愛着を持っている

多様性と寛容性（5）

- 町内にはどんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある
- 私は見知らぬ他者であっても信頼する
- 私は、町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる
- 女性が活躍しやすい
- 若者が活躍しやすい

自分らしい生き方（6）

自己効力感（1）

- 自分のことを好ましく感じる

健康状態（2）

- 身体的に健康な状態である
- 精神的に健康な状態である

文化・芸術（2）

- 文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい
- 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい

教育機会の豊かさ（1）

- 学びたいことを学べる機会がある

雇用・所得（2）

- やりたい仕事を見つけやすい
- 適切な収入を得るための機会がある

事業創造（1）

- 新たなことに挑戦・成長するための機会がある

< 県独自設問 >

- 今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。
- 今から5年前、あなたはどの程度幸せでしたか。